

酒類・飲料

機内持ち込み、お預かりどちらも可能ですが、瓶に入ったお酒や飲料は壊れやすいためできるだけ機内にお持ち込みください。

アルコール度数が70%を超えるものは機内持ち込み、お預かりもできません。

<数量制限>

アルコール度数が24%を超え、70%以下のものは1人当たり5リットルまで

アルコール度数が24%以下のものは制限がありません。

化粧品・医薬品（消毒液や消毒スプレー含む）

機内持ち込み、お預かりどちらも可能です。

ガスが充填されたスプレー缶製品の場合は、噴射弁をキャップまたは適当な方法（噴射弁が押されないような措置）で保護してください。また医薬品には放射性物質が含まれていないことが条件です。

<数量制限>

● 1容器当たり 0.5kgまたは0.5リットル以下

● 一人当たり合計2kgまたは2リットルまで

≪化粧品の具体例≫

● ヘアケア用品：ヘアスプレー、ヘアトニック、育毛剤（液体、スプレー）、ヘアカラー、白髪染め、ブリーチ

● スキンケア用品：化粧水、洗顔フォーム、日焼け止め、シェービングフォーム

● ネイルケア用品：マニキュア、除光液、ネイルアート用品

● 入浴剤、バスオイル

● マウスケア用品

● 香水、アロマオイル

● 制汗、清涼、冷却スプレー

● 芳香、消臭、除菌、シワ取りスプレー（身体用、衣料・室内用）

● 洗浄液（コンタクト用、入れ歯用、ジュエリー用、メガネ用、髭剃り用など）

スポーツ用品・スプレー缶製品（日用品）

機内持込み、お預かりどちらも可能ですが、噴射弁をキャップまたは適当な方法（噴射弁が押されないような措置）で保護してください。

※LPガス、LPGガス、DMEガスなどの引火性ガスや毒性のあるガスは機内持ち込みもお預かりもできません。

<数量制限>

1容器0.5kgまたは0.5リットル以下のものを1人当たり2kgまたは2リットルまで

喫煙用ライター・マッチ（喫煙用のもののみ）

ライターは手荷物としてお預かりできません。

身につけて携帯し喫煙に使用するもの（小型の喫煙用ライター、または小型の安全マッチ）は、お一人につきいずれか1個、機内持ち込みのみ可能です。

※詰め替え用のオイルやガスは機内持ち込みもお預かりもできません。

《持ち込みできるライター》

- ガスライター（使い捨て・ガス充填式）
- オイルライター（吸収剤があるもの）
- 安全マッチ（小型のもの。徳用箱や万能マッチは不可）
- リチウム電池式ライター（リチウム含有量が2g以下のリチウム電池またはワット時定格量100Wh以下のリチウムイオン電池式のみ可。安全
- キャップ、もしくは不測の作動を防止するための機能がついていること。機内での充電はできません）

《持ち込みできないライター》

- プリミキシングライター（ターボライター、ジェットライター、ブルーフレームライターなど）
- 葉巻用ライター
- オイルライター（吸収剤がないもの）
- チャッカマン

電子タバコ

リチウム含有量が2g以下のリチウム電池またはワット時定格量が100Wh以下のリチウムイオン電池を使用しているものに限り、機内持ち込みのみ可能です。

不意の作動を防止するための保護をしてください。

機内ではご使用（充電含む）できません。

<数量制限>

なし

花火

火薬が使用されているものは、種類・用途と問わず機内持ち込み、お預かりどちらもできません。

酸素缶

医療用途以外のもの（スポーツ、登山用など）は機内持ち込み、お預かりどちらもできません。

加熱式弁当・飲料容器

使用前、使用後にかかわらず、機内持ち込み、お預かりどちらもできません。

トラッキングデバイス（位置情報を提供する電子機器）

Bluetooth電波を使用し、位置情報を追跡する電子機器は電源OFFのまま機内持ち込み、お預かりどちらも可能です。

リチウム含有量が0.3g以下のリチウム電池またはワット時定格量が2.7Wh以下のリチウムイオン電池を使用しているものに限りです。

<数量制限>

なし

ドライアイス

生鮮食料品などを冷却するために使用するものに限り機内持ち込み、お預かり*どちらも可能です。

<数量制限>

1人当たり2.5kgまで

※空港でドライアイスの重量を計測させていただく場合があります。

(購入店が発行したドライアイスの重量が記載された書類などがあればお持ちください)

熱を発する器具（撮影用ライト、はんだゴテなど）

電池を取り外した状態でのみ機内持ち込み、お預かりどちらも可能です。

取り外した電池がリチウムイオンの場合は、電池を短絡しないよう個別に保護し、機内にお持ち込みください。

数量制限

なし

※リチウムイオン電池の場合は、「電子機器（リチウム電池、リチウムイオン電池内蔵したパソコン、ビデオカメラなど）」記載の容量規定に基づく

<器具の具体例>

水中トーチランプ（水中ライト）、撮影用ライト、はんだゴテ

ガス式ヘアカーラー

機内持ち込み、お預かりどちらも可能ですが、熱源部に専用の安全カバーが取り付けられていることが条件です。

※機内ではご利用いただけません。

※詰替え用のガスカートリッジは機内持ち込みもお預かりもできません。

<数量制限>

1人当たり1個まで

酸素ボトル、空気ガスシリンダー

用途により取り扱いが異なります。

≪医療（援助）用≫

機内持ち込み・お預かりどちらも可能

<数量制限>

なし（ただし1容器当たり5kg以下のもの）

≪医療用以外の用途（登山・スポーツ用など）のもの≫

機内持ち込み・お預かりどちらも不可

※医療用・医療用以外の用途を問わず、シリンダー（ボトル）内にガスの残留がない場合は、機内持ち込み、お預かりともに可能です。（機内持ち込み手荷物としての重量制限内に限る）

個人用安全装置（救命胴衣など）

小型の炭酸ガスが充填されたシリンダーもしくは非引火性シリンダーが装着されているものは機内持ち込み、お預かりどちらも可能です。

<数量制限>

1人あたり2着（ガスシリンダー2個）まで

≪予備のガスシリンダーについて≫

装着状況により取り扱いが異なります。

≪安全装置に装着済みの予備のガスシリンダー≫

機内持ち込み、お預かりどちらも可

<数量制限>

1着の装置につき予備のガスシリンダー2個まで

≪ガスシリンダーのみ（本体なし）≫

機内持ち込み・お預かりどちらも不可

電子機器（リチウム電池、リチウムイオン電池内蔵したパソコン、ビデオカメラなど）

ノートパソコン、タブレットなどのリチウム電池・リチウムイオン電池を内蔵した携帯型電子機器*は機内持ち込み、お預かりどちらも可能ですが、お預けになる場合は必ず電源をオフにし、ケースや衣類などで梱包するなど保護をしてください。

リチウム電池はリチウム含有量が2g以下のもの、またはリチウムイオン電池はワット時定格量が160Wh以下のもの（超える場合は機内持ち込み、お預かりもできません）。

<数量制限>

なし

≪具体例≫

パソコン、携帯電話（スマートフォン）、カメラ（ビデオカメラ）、腕時計、計算機 など

≪予備のバッテリーについて≫

バッテリーのタイプにより取り扱いが異なります。

いずれのタイプも短絡（ショート）しないように個別に保護してください。

● 使い捨てタイプ（リチウム電池）

リチウム含有量が2g以下であれば機内持ち込み可

● 充電式タイプ（リチウムイオン電池）

ワット時定格量が100Wh以下のもの→機内持ち込みのみ可。数量制限はありません。

ワット時定格量が100Whを超え、160Wh以下のもの→機内持ち込みのみ可。電子機器と予備のバッテリーあわせて2個まで

ワット時定格量が160Whを超えるもの→機内持ち込み、お預かりどちらも不可

装弾

スポーツ用、狩猟用の弾薬はお預かりのみ可能です。機内持ち込みはできません。

<数量制限>

1人当たり包装込みの質量で5kgまで

スマートバゲージ

他の電子機器（スマートフォン、PCなど）への充電、GPS、Bluetooth、Wi-Fiなどの機能があり、リチウム電池ならびにリチウムイオン電池（含む充電器）を内蔵・装着した手荷物は電源タイプにより取り扱いが異なります。

≪電池の取り外しができないもの≫

機内持ち込み、お預かりどちらもできません。

≪電池が取り外せるもの≫

お預かりは可能です。

※お預けになる場合、電池は取り外して機内へお持ち込みください。

＜数量制限＞

予備リチウムイオン電池の場合は、「電子機器（リチウム電池、リチウムイオン電池内蔵したパソコン、ビデオカメラなど）の予備電池」の規定に基づく

電動スケートボード、スクーターなど

リチウム電池またはリチウムイオン電池を原動力とする小型車両は機内持ち込み、お預かりどちらもできません。

電動車いす、電動移動補助機器は取り扱いが異なります。

≪具体例≫

電動スケートボード、電動キックスクーター、電動スクーター、ホバーボード、セグウェイなど

風船

≪膨らませた（空気が入った）状態のもの≫

機内持ち込み、お預かりどちらもできません。

≪空気を抜いた状態のもの≫

機内持ち込み、お預かりどちらも可能です。（1人あたり包装込みの質量で5kgまで）

携帯型医療電子機器（AED、CPAP、ネブライザーなど）

リチウム含有量が8g以下のリチウム電池またはワット時定格量が160Wh以下のリチウムイオン電池を使用しているものに限り、機内持ち込み、お預かりどちらも可能です。

お預けになる場合は必ず電源をオフにし、ケースや衣類などで梱包するなど保護をしてください。

規格を超える場合は機内持ち込みもお預かりもできません。

<数量制限>

なし

<<具体例>>

AED（除細動器）、CPAP（持続陽圧呼吸療法装置）、ネブライザー（噴霧器）など

※AEDは内蔵されている電池の種類・規格によって輸送可否が異なります。AEDには手荷物としての輸送が禁止されているリチウム電池（使い捨てタイプ）やリチウムイオン電池（充電式タイプ）を内蔵した製品が多いため、製品仕様書または各AEDメーカーにお問い合わせください。なお、リチウム電池またはリチウムイオン電池以外が内蔵されているAEDは機内持ち込み、お預けともに可能です。

<<予備のバッテリーについて>>

内容については、「電子機器（リチウム電池、リチウムイオン電池内蔵したパソコン、ビデオカメラなど）」の規定に基づく。

治験薬（開発中の薬）

国からの製薬の認可を受ける前段階の開発中の薬は、以下の条件を満たした場合に限り機内持ち込み、お預かりどちらも可能です。

・「治験薬（治験）」という文言が記載された書類（任意のフォーム）を所持していること。任意のフォームの場合は製薬会社などの会社名で作成されたものであること

・放射性物質ではないこと（「三つ葉マーク」が付されていないこと）

・航空法で定められた保安検査（X線検査、開被検査、液体物検査）が実施できること

※液体の治験薬は開被検査ができない場合は機内持ち込みはできません。

※液体以外の治験薬においても、X線検査結果によっては開被検査を実施する場合があります。

<数量制限>

1人あたり1容器0.5kgまたは0.5リットル以下のものを2kgまたは2リットルまで

ショックアブソーバー（サスペンション）

状態により取り扱いが異なります。

《自転車に使用するサスペンション》

ガス式、オイル式共機内持ち込み、お預かりどちらも可能です。

《バイク、自動車に使用するサスペンション》

ガス式、オイル式共、種類、仕様により輸送できない場合があります。事前にお問い合わせいただくか、製品の詳細がわかる説明書や安全データシート（SDS）を空港へお持ちください。

リチウム電池またはリチウム電池を含む製品について

リチウム電池またはリチウムイオン電池を内蔵した電子機器ならびにAEDを含む携帯医療用電子機器、およびそれらに使用する予備電池については航空会社により一人あたりの総個数の制限を設ける場合があります。

リコール対象のリチウムイオン電池を含む製品はお預かりできません。製品を十分に梱包の上電源を完全に切り機内にお持ち込みください。機内では目の届くところに置き、充電はお控えください。